

カンパニー マリー・シュイナール 日本ツアー2015 金沢公演

11月7日(土) 『春の祭典』『アンリ・ミショーのムーヴマン』 金沢市文化ホール

11月8日(日) 『イン・ミュージアム IN MUSEUM』 金沢21世紀美術館

7/10(金)
チケット
先行発売



Le Sacre du printemps/ Chorégraphie / Choreography: Marie Chouinard Photo: Marie Chouinard Interprète / Dancer: Dominique Porte

世界のコンテンポラリーダンスを牽引する鬼才「カンパニー マリー・シュイナール」待望の金沢公演!

精鋭のダンサー10名による舞台作品『春の祭典』『アンリ・ミショーのムーヴマン』の豪華2本立てを金沢市文化ホールで。観客の願いに応じ、マリー・シュイナールが即興で舞うソロ最新作『イン・ミュージアム』を金沢21世紀美術館のアート空間にて。カナダ・モントリオールから、その並外れたダンスと振付けを存分に堪能する2日間。

発信元

公益財団法人金沢芸術創造財団、金沢21世紀美術館

本資料に関するお問合せ

広報担当 / 中山(金沢21世紀美術館広報室) TEL 076-220-2814 E-mail: press@kanazawa21.jp <http://www.kanazawa21.jp>

事業担当 / 黒田(金沢21世紀美術館交流課) TEL 076-220-2811

割出(公益財団法人金沢芸術創造財団事業課) TEL 076-223-9898 <http://www.kanazawa-arts.or.jp>

公演について

待望のカンパニー マリー・シュイナル金沢初公演

過去3度の来日公演を果たし、毎回多くの観客に驚きと感動を与えてきたカンパニー マリー・シュイナル。6年ぶりの来日となる今回は、カンパニー作品とマリー自身が踊り手となるソロ作品を一挙3作品上演。ダンスファンのみならず一度はマリーの作品を見たかったという観客にとっても絶好の機会となっています。

金沢初の大規模な海外コンテンポラリーダンス公演、連携により招聘が実現

この金沢公演は、金沢芸術創造財団事業課と金沢21世紀美術館交流課が資金や制作、施設面等で協力することで初めて実現可能となったもので、世界的に評価の高いホール規模の海外コンテンポラリーダンス公演を金沢で鑑賞する初めての機会となります。

公演概要

※内容や時間等は変更する場合があります。最新情報はウェブをご覧ください。

『春の祭典』『アンリ・ミショーのムーヴマン』

- 公演日程 2015年11月7日(土) 開演18:00(開場17:30)
 会場 金沢市文化ホール
 料金(全席指定) 一般 4,000円(当日 4,500円) / 学生 2,000円(当日 2,500円) ※未就学児入場不可
- チケット取扱 <先行発売 2015年7月10日(金)>
 ● 7/10一日限定 金沢芸術創造財団ウェブサイト先行販売 <http://www.kanazawa-arts.or.jp>
 ※どなたでも利用可能、手数料なしでお得な一日限定の電話による受付販売
- その他、各種会員向け先行販売
 ・ ローソン会員向け WEB先行販売(Lコード:56187) 7/10(金) 10:00~7/16(木)22:00
 ・ チケットぴあ会員向け WEB先行販売(Pコード:445-405) 7/10(金) 10:00~7/16(木)23:59
 ・ 金沢21世紀美術館友の会会員特典 ミュージアムショップ先行販売(チケット料金1割引)7/10(金) 10:00~
 ※ 窓口販売 火~日10:00~18:30、金・土10:00~20:30 (要会員証提示) TEL 076-236-6072
 ※ 友の会専用ウェブサイトにて予約受付 <http://www.kanazawa21.jp/tomonokai>
- <一般発売 2015年7月18日(土)>
 ・ 石川県立音楽堂チケットボックス TEL 076-232-8632
 ・ ローソンチケット(Lコード:56187) TEL 0570-084-005
 ・ チケットぴあ(Pコード:445-405) TEL 0570-02-9999
 ・ 香林坊大和プレイガイド・金沢市文化ホール

マリー・シュイナル ソロ公演『イン・ミュージアム IN MUSEUM』

- 公演日程 2015年11月8日(日) 開演13:00~16:00
 会場 金沢21世紀美術館 交流ゾーン(本多通り側) 観覧無料

ダンスワークショップ

カンパニーの創造性に富んだ世界と遭遇できる経験者向けワークショップ。呼吸、声、脊髄の感覚を呼び覚ますことから始め、受講者が自身の内なる宇宙と繋がるようにします。その後カンパニーのレパトリーを体験します。

- 日時 2015年11月3日(火・祝) 14:00~16:00
 会場 金沢21世紀美術館 シアター21
 対象 中学生以上。舞踊経験5年以上(ジャンル不問)
 定員 30名(要事前申込み)
 参加費 1000円
 主催・問合せ 金沢21世紀美術館[(公財)金沢芸術創造財団] TEL 076-220-2811(交流課)

*詳しくは当館ウェブサイト(<http://www.kanazawa21.jp>)、交流課Facebook(<https://www.facebook.com/kanazawa21event>)等をご覧ください。

クレジット

- 主催 (公財)金沢芸術創造財団、金沢21世紀美術館[(公財)金沢芸術創造財団]
 助成 (一財)地域創造、平成27年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業、ケベック・アーツカウンシル、カナダ芸術評議会、モントリオール・アーツカウンシル
 特別協力 北陸放送
 後援 カナダ大使館、ケベック州政府在日事務所、北國新聞社、テレビ金沢、石川テレビ、エフエム石川
 制作協力 国際舞台芸術交流センター

作品について

『春の祭典』

Le Sacre du printemps

現在でも様々な振付家により上演されるストラヴィンスキーのバレエ音楽「春の祭典」。シュイナルは、シンプルかつ幻想的な舞台セットに呼応した奇抜な衣装と、激しく妖しい振付により原初的で神話的な世界を生み出し、「春の祭典」上演史に新たな1ページを付け加えた。「私は生命が初めて誕生した直後の瞬間を表現した。」(マリー・シュイナル)

コンセプト・振付・芸術監督: マリー・シュイナル

出演: カンパニー マリー・シュイナル

音楽: ロベール・ラシーヌ「シグナチュール・ソノール」(1992)、イーゴリ・ストラヴィンスキー「春の祭典」(1913)

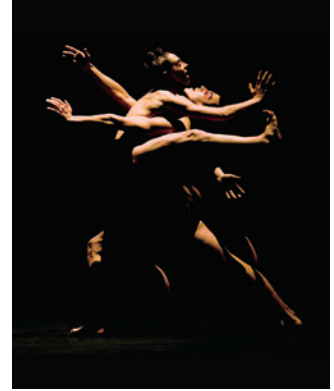
共同製作: ナショナル・アーツ・センター(オタワ)、フェスティバル・アンテルナショナル・ドゥ・ヌーヴェル・ダンス(モントリオール)、クンステンセントルム・ヴォーラウト(ゲント)

初演: 1993年 オタワ(カナダ)

上演時間45分

「彼女は『春の祭典』を衝撃と自然とするほどの作品に仕上げた。活気に満ちた激しい身体の動きが豊穡なプリミティヴィズムに彩られ、何かとてつもないものが魂を奥底から揺さぶる。」 -ヌーヴェル・オブセルヴァトゥール誌(パリ)

「……カナダのマリー・シュイナルによって1990年代は自らの『春の祭典』を手にしたのだ……」 -バレエ2000誌(ヨーロッパ)



Chorégraphie / Choreography: Marie Chouinard
Photo: Nicolas Ruel
Interprètes / Dancers: Carol Prieur, James Viveiros



Chorégraphie / Choreography: Marie Chouinard
Photo: Marie Chouinard
Interprète / Dancer: Dominique Porte

『アンリ・ミショーのムーヴマン』

HENRI MICHAUX: MOUVEMENTS

フランスの詩人で画家、アンリ・ミショーの詩画集「ムーヴマン」にインスパイアされて創作した作品。「ムーヴマン」の大胆な形態のデッサンを、ダンサーが身体能力を駆使して表現する。最初は一人で始まり、最後は大勢のダンサーがデッサンを再現。シュイナルは小道具を一切使わずデッサンの映像と身体表現だけでスペクタクルな空間を作り上げる。

振付・芸術監督: マリー・シュイナル

出演: カンパニー マリー・シュイナル

音楽: ルイ・デュフォー

テキスト・画: アンリ・ミショー「ムーヴマン」(ガリマール社,1951)より。アンリ・ミショーの著作権所有者およびガリマール社の許可のもと抜粋

初演: 2011年 ウィーン(オーストリア)、2005年 モントリオール(カナダ)でのソロパフォーマンスを含む

上演時間: 35分

「……このダンスカンパニーの新作は身体と思考の限界を押し広げる」 -クロニクル・ヘラルド紙

「すべてが喚起された本質に凝縮され、最上級の芸術へと昇華した。それを生み出したのは創造力の絶頂にある一人の振付家である。彼女には思いがけないものを期待できそうだ。」 -ピッツバーグ・ポストガゼット紙(ピッツバーグ)



Photo: Sylvie-Ann Paré Interprète/Dancer: Lucy May



Photo: Sylvie-Ann Paré
Interprètes/Dancers: Gérard Reyes, Mariusz Ostrowski, James Viveiros, Lucy may, Lucie Mongrain, Leon Kupferschmid, Carol Prieur

『イン・ミュージアム IN MUSEUM』

古代ギリシャの聖地デルフォイの予言者ピュティアを思わせる姿のシュイナルが、観客からの問いや願いに即興で応えるパフォーマンス。振付家として国際的に名声を得たシュイナルの3時間に渡り繰り広げられる観客との交歓をお楽しみください。

※交流ゾーン(本多通り側)で上演する無料公演。上演中は何時からでも、お好きなだけご覧下さい。

コンセプト、パフォーマンス、衣装・装飾：マリー・シュイナル

初演：2012年 ベー・サン・ポール(カナダ)

上演時間：3時間

「こうした感動的な交流は、この作品をいわば私たち人類が古来もつ根源的なもの、すなわち互に通じ合い、つながり合いたいという欲望についての儀式へと高める。体験が記憶に刻まれる仕組みやその強さは全く私的なものだ。しかしこのように強烈なものを目にした場合はそのかぎりではない。」—ダンス・カレント



Photo: Karine Patry



Photos: Sylvie-Ann Paré
Interprète / dancer: Marie Chouinard

5

6

プロフィール

カンパニー マリー・シュイナル Compagnie Marie Chouinard

マリー・シュイナルは78年に処女作を発表し、本質の探求に憑かれた鬼才なアーティストとして瞬く間にその地位を確立した。12年間のソロ活動後、90年に「カンパニー マリー・シュイナル」を設立。生の媒体としての身体を称賛しつつ、精力に充ちたムーブメントを通して多様化した構造のダンス作品を創作している。07年カナダ勲章オフィサー級、09年フランス芸術文化勲章シュヴァリエ受賞。05年カンパニー作品「ショパンによる二十四の前奏曲」「コラル〜讃歌〜」で初来日し、06年「牧神の午後」「春の祭典」、09年「オルフェウス&エウリディケ」と日本ツアーを開催し、毎回大きな衝撃と絶賛を持って迎えられている。



Photo: Laurence Labat

7

ツアー情報

神奈川公演

『春の祭典』『アンリ・ミショーのムーヴマン』

[日時] 10/24(土)18:00 / 10/25(日)15:00

[会場] KAAT 神奈川芸術劇場ホール

お問合せ：チケットかながわ TEL 0570-015-415(10:00~18:00)

高知公演

『春の祭典』『アンリ・ミショーのムーヴマン』

[日時] 10/31(土)19:00 [会場] 高知県立美術館ホール

『イン・ミュージアム IN MUSEUM』

[日時] 11/1(日)13:30 [会場] 高知県立美術館県民ギャラリー

お問合せ：高知県立美術館 TEL 088-866-8000

広報用画像

画像 1~7 を広報用にご提供いたします。ご希望の方は下記をお読みの上、下記へお申し込みください。

金沢21世紀美術館 広報担当/中山(広報室) 〒920-8509 金沢市広坂1-2-1

TEL 076-220-2814 FAX 076-220-2802 <http://www.kanazawa21.jp> E-mail: press@kanazawa21.jp

<使用条件> ※広報用画像の掲載には各々下記クレジットの明記が必要です。

※トリミングはご遠慮ください。作品が切れたりキャプション等の文字がかぶったりしないよう、レイアウトにご配慮ください。

※情報確認のため、お手数ですが校正紙を広報室へお送り下さい。

※アーカイブの為、後日、掲載誌(紙)、URL、番組収録のDVDなどをお送りください。

以上、ご理解とご協力を頂けますようお願い申し上げます